



Plum wine of Ohyama City

大分県日田市

梅の里、大山町の極上梅酒「ゆめひびき」

撮影(左ページ)・文/飯田裕子 撮影(右ページ) 内藤サトル

契約農家が丹念に育てた鶯宿梅を使い、ホワイトオークの樽で長期熟成された梅酒

大分県日田市大山町は山間に広がる森の里だ。平坦な土地はないに等しく、傾斜地はもちろん米作に適していない。そのため1960年頃から村を挙げて梅や栗の栽培を積極的に推し進めてきた。政府が米作を推奨する中であって、「梅栗植えてハワイへ行こう!」とユニークなキャッチフレーズを掲げた取り組みは成功を収め、農家の収入も増えた。大山町は日本全国で最も住民のパスポート所持率が高いことで知られている。これが一村一品運動の先駆けである。

以来、大山町は品質の良い梅作りに取り組み続けている。技術改良はもちろん、豊かな山林資源を活かしたオリジナルの堆肥も開発した。土が健康になれば、梅は生き活きと枝や根を張り病害虫を寄せ付けなくな

る。農薬の使用量も自然に減るといふ訳だ。

手間を惜しまず育てた梅の木は、今では1万2000本を数えるほど。3月には南高梅を筆頭に、七折、白加賀、鶯宿など9種類の梅の花が咲き競う。そして5月下旬から7月には青い実がたわわに実る。この時期、農家は実を収穫し、梅干しやジャムへ加工するなど大忙しだ。

最上級の梅を使用して海外の品評会でも高評価

こうして「緑のダイヤモンド」と言われるまでになった大山町の梅。その品種のひとつ、鶯宿梅で作られる梅酒が「ゆめひびき」である。なかでも「樽仕込高級梅酒ゆめひびき」は、3年間熟成させた梅酒をさらにウイスキーを抜いたホワイトオークの樽に仕込み追熟させたもの。梅の甘酸っぱさをモルトのほのかな香りが際立たせ、ホワイトオークの爽やかな刺激が芳醇なコクを上品に包み込む。その味わいは滋味に富み、官能的ですらある。

鶯宿梅の名の由来にもロマンがある。平安中期、清涼殿(天皇の御殿)の梅が枯れたため、紀貫之の娘、紀内侍の庭の梅を移すことに。その枝に「帝からのお達しでこの梅の木を移すことになったとはいえ、毎年この梅の木で巣を営む鶯は、さてどこに巣を営んだらいいのでしょうか」との和歌一首が結ばれていた。それを詠んだ天皇は、梅の木を返したという。

満開の梅の花の中、枝から枝へ飛び交う鶯。羽を休めての美声が山々にこだまする。「ゆめひびき」は、そんな長閑な風景と誠実で勤勉な農家が育くみ仕込んだ、極上の梅酒である。



つややかな青梅の輝きは、丹精込めて木を育てたたまものだ。

●お問い合わせ先/ひびきの郷 大分県日田市大山町西大山 4587 番地 ☎ 0973-52-3000

PLUM WINE YUMEHIBIKI



樽仕込高級梅酒「ゆめひびき」

内容量：500ml
アルコール：20%
価格：3333円(税別)(風呂敷付)
原材料：大山産鶯宿梅、醸造アルコール、液糖

AirEngine

PM2.5をも除去する 空気清浄機「AirEngine」

撮影/内藤サトル 文/JQR編集部

ふたつのファンを搭載し
 空気の循環を通して体に害を
 与える極小粉塵を集めて清浄

上部パネルの隅にある飛行機が描かれた丸いスイッチ。空気清浄機に?と訝しがりながらもこの「ジェットクリーニングモード」を押すと、その白い筐体はジェットタービンのような唸りを上げ周囲の空気を吸い込み真上に吹き出し始めた。それはまるで、突然現れた小さな竜巻である。強力なパワーで天井に送り出された空気は壁に沿って下降し、再び筐体下部から吸い上げられる。こうして部屋の澱んだ空気が移動し、筐体内部のフィルターを幾度となく通ることで空気全体が素早く清浄されるのだ。

塵などの微粒子は、戸やサッシの隙間から簡単に部屋に侵入する。いずれも人の目には見えないほど小さく、テーブルを拭いた布巾の汚れにようやくその存在に気がつくほど。この塵の正体は車や工場の排ガスや

建設現場からの粉塵や花粉、そして中国からの黄砂である。特に問題なのが、PM2.5と呼ばれる微粒子状物質だ。

大きく重い花粉も
 強力に引き寄せる

スギ花粉の粒子は直径約30マイクロメートル。黄砂は5マイクロメートルの大きさである。これに比べ、PM2.5はその名の通り2.5マイクロメートル以下と極めて小さい。しかもその多くは0.3マイクロメートル前後だとか。そのため体内に入りやすく、呼吸器疾患や心疾患を引き起こす原因になるという。注意を促されても目に見えないからやっかいだ。しかも部屋には大量に舞い込んでいるに違いない。

空気清浄機「AirEngine」の最大の特徴は、吸引用と送付用のふたつのファンを搭載したこと。これにより最大毎分1万リットルという大量の空気を送り出す。サーキュレーター並の強力な風の循環を生み出すことで、部屋に侵入した微粒子を強制的に集めフィルターで濾過する。そ



美しい筐体のデザインは、部屋のインテリアとしても邪魔にならない。

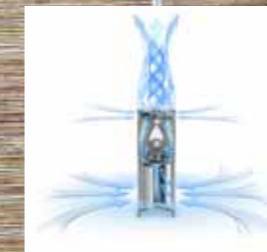
の除去性能は極めて高い。16畳の住居空間における2.5ミクロンの浮遊物質の集塵試験では、19分で90%以上。同様に0.1ミクロンの浮遊物質は29分で90%以上という結果を出している。

搭載されている「360°酵素フィルター」は筒状で、筐体の四面から入ってきた空気を効率的に濾過するもの。活性炭ハニカムフィルター構造を持ち、嫌な臭いを吸収し触媒機能で水と炭酸ガスに分解。加えてフィルターの繊維には溶菌酵素を特殊な技術でコーティングし、吸引時に表面に接触したウイルスやカビを不活性化させるから安心だ。

知らず知らずのうちに体に取り込まれる微粒子をも一網打尽にする、心強い空気清浄機の登場である。



500時間継続して運転するとお手入れサインが点灯。フィルター表面を掃除機できれいにする。1年に1回のフィルター交換が効率的。



Wファン構造で、上部の開口部から吹き出される空気量は最大で毎分1万リットル。サーキュレーションの役割も担う。



AirEngine

「AirEngine」

本体寸法：(W)250mm×(D)250mm×(H)700mm
 本体重量：8.0Kg
 動作電力：AC100V 50/60Hz対応
 価格：47,429円(税別)

●お問い合わせ先/バルムューダ株式会社 フリーダイヤル0120-686-717 <http://www.balmuda.com/jp/>
 ※「AirEngine」は日本で企画・設計している。